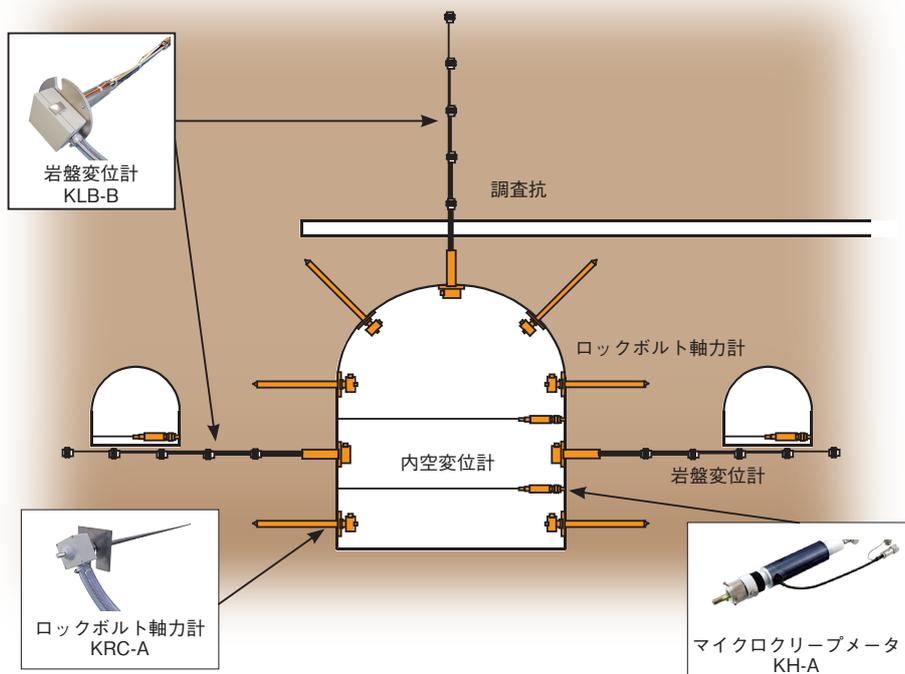




地下空洞の計測

地下空洞は、その断面が大きくなればなるほど安定性が低下し、大規模な支保構造が必要となります。空洞の安定性は、周辺地山によって決定されますが、地山の安定性を事前調査で見極めることは非常

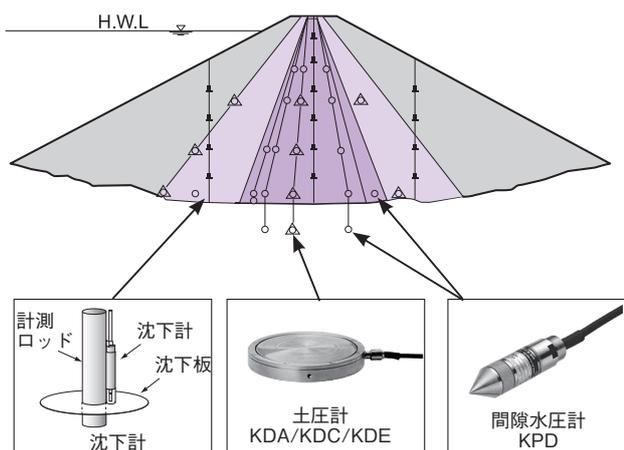
に困難です。このような場合には、施工中の地山の挙動を観測し、そこから得られるデータを分析して設計・施工に反映させる情報化施工を提案しています。



ダムの計測

フィルダムの計測

築堤時に発生する堤体および基礎地盤の間隙水圧の計測はアースダムなどにおいては、盛立速度の規制に用いられます。築堤時の計測項目としては、このほかに堤体・基礎の変形および土圧などがあります。完成後の安全管理の主要項目は、堤体・基礎の浸透水量と堤体の外部変形であり、また堤体および基礎の浸透系全体の遷移状況を把握するために、間隙水圧、基礎の浸透圧および地山地下水位などの計測が実施されます。



コンクリートダムの計測

コンクリートダムの埋設計器は

- ① 施工管理用
 - ② 安全管理用
 - ③ 研究目的
- など、大別して三つの目的で設置されます。

